

令和5年度日本臨床歯科補綴研修会

基本8ヵ月webコースに即した

実習6日間対面コース



開催地 東京・福岡

日本臨床歯科補綴学会 小出 馨

この“実習に特化した6日間対面コース”の対象は、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士の3者です。

受講区分・お申込 について

【実習受講】	【OB受講】
実習参加により 手技習得 を対象としたコースです	実習見学により 復習・確認 を対象としたコースです
歯科医師：374,000円(税込) 歯科技工士：231,000円(税込) 歯科衛生士：33,000円(税込)	歯科医師：33,000円(税込) 歯科技工士：22,000円(税込) 歯科衛生士：16,500円(税込)

【実習受講】	アップデートされた最新の基本8ヵ月WEBコース2023と並行して、 実習6日間対面コースをご受講下さることをお勧め致します。	【OB受講】
申込可能	現在、基本8ヵ月WEBコース2023(全8回)を受講中(含OB受講)	申込可能
申込可能	2019年以前の実習付基本8ヵ月コース(全8回)を受講済	申込可能
申込可能	昨年開催の実習4日間コース2022を受講済	申込可能
申込可能	2020年以降の基本8ヵ月WEBコース(全8回)を受講済	申込不可
申込不可	WEBを含む基本8ヵ月コース(全8回)を受講したことがない	申込不可
基本8ヵ月コース(全8回)未受講の場合は、実習コースのみの受講は出来ません		

※ なお、“実習に特化した6日間対面コース”の受講区分とお申し込みに関する詳細は学会ホームページをご覧ください。宜しくお願い致します。

2023年開催期日と会場

【東京開催】

会場：新東京歯科技工士学校, 新東京歯科衛生士学校

期日：

- ・ 9 /30 (土), 10/ 1 (日)
- ・ 10/ 7 (土), 8 (日)
- ・ 10/28 (土), 29 (日)

時間：

- ・ 1日目・・・13：00～18：00
- ・ 2日目・・・9：30～16：00

使用実習室：

- ・ 8F 教室
- ・ 5F 歯科衛生科実習室
- ・ 4F 歯科技工科実習室

【福岡開催】

会場：博多メディカル専門学校

- ・ 11/ 4 (土), 5 (日)
- ・ 11/25 (土), 26 (日)
- ・ 12/ 9 (土), 10 (日)

期日：

- ・ 1日目・・・13：00～18：00
- ・ 2日目・・・9：30～16：00

使用実習室：

- ・ 5F 教室
- ・ 5F 歯科衛生科実習室

- ・ 4F 歯科技工科実習室

【実習実施項目一覧】

オリエンテーション

- ・ 会場の案内と説明
- ・ 配付資料の確認
- ・ 各種配付器具機材の説明
- ・ 実習 6 日間コースの概説

実習示説 1（筋の触診）

- ・ 筋の触診の意義
- ・ 筋の触診のポイント
- ・ 筋の触診 10 部位と順序
- ・ 触診圧の確認
- ・ 圧痛の評価基準
- ・ 筋の触診と臨床診断

実習示説 2（顎関節の触診）

- ・ エングラムの確認
- ・ ディコンプレッションとディプログラミングの確認
- ・ 筋の圧痛と顎頭位や咬合との関係を確認
- ・ 顎関節の触診 4 種の施行ポイント
- ・ 顎関節の触診 4 種による臨床診断

実習示説 3（顎関節の聴診）

- ・ 顎関節用聴診器有効性
- ・ 顎関節用聴診器・ステレオステソスコープの使用法
- ・ ステレオステソスコープによる顎関節の検査・診断

実習示説 4（パラオクルーザルクラッチの製作）

- ・ SCM・顎頭運動経路描記装置用パラオクルーザルクラッチの使用法
- ・ パラオクルーザルクラッチの設計
- ・ パラオクルーザルクラッチの製作
- ・ パラオクルーザルクラッチの試適, 調整
- ・ パラオクルーザルクラッチ装着のポイント

実習示説 5 (顎頭運動経路描記と診断)

- SCM レコーダー顎頭運動経路描記装置の使用法
- SCM・顎頭運動経路描記のポイント
- 顎頭運動経路記録のポイント
- SCM・顎頭運動経路描記実習と顎関節の診断

実習示説 6 (スプリントベース部の有効性の高い製作法)

- 臨床で有効なスプリントの条件
- スプリント (アプライアンス) ベース部の設計
- スプリントベース部製作の前準備
- バキュームフォーマーによるハードプレート圧接時のポイント
- スプリントベース部の完成

実習示説 7 (スタビライゼーションスプリントの有効性の高い製作法)

- スタビライゼーションスプリント設定基準
- スタビライゼーションスプリント設定基準の確認と製作・装着・調整
- ディコンプレッションとディプログラミングの再確認
- クロージャーストッパーとイコライザーへの対応
- ハネルフォイルによる咬合の診査・診断と逃避反射の確認

実習示説 8 (フェイスボウトランスファー)

- フェイスボウのバイトフォークへのコンパウンド圧接準備
- 生体のフェイスボウレコーディング
- 自然頭位をトランスファーする基準の確認
- 咬合器へのフェイスボウトランスファー
- 咬合器への模型装着の前準備
- 下顎模型装着時のポイント
- 模型を用いた咬合器顎路調節の基礎実習

実習示説 9 (アンテリアジグの製作とチェックバイト)

- 側方限界運動を咬合器に再現することの重要性を確認
- 左右側方偏心位におけるアンテリアジグの製作
- シリコンバイト材による左右側方偏心位のチェックバイト記録

実習示説 10 (側方限界運動を再現する咬合器の顎路調節)

- チェックバイト記録の調整と作業模型への適合確認
- 効果的な咬合器調節の操作手順
- 作業側側方顎路角（リアウォール）を含めた顎路調節
- 病態に応じた顎路調節のポイント
- 咬合器上での側方限界運動の再現

実習示説 11（咬合器のハンドリングと咬合診断）

- 咬合器の適正なハンドリングのポイント
- 咬合診断
- オクルーザルプレーンアナライザーによる咬合平面の位置と彎曲度の診査・診断

実習示説 12（予知性を高めるパーシャルデンチャーの設計）

- パーシャルデンチャー設計原則を確認
- 設計の6要の確認
- パーシャルデンチャーにおける支台装置の具備条件の確認
- 適正なサベイング実習
- 4症例のパーシャルデンチャー設計
- 3症例の設計実習

実習示説 13（適正で迅速なリングライズドオクルージョンの構成）

- 支持組織の支持能力に応じた咬合構成の重要性を確認
- 総義歯におけるリングライズドオクルージョンの有効性を確認
- 咬合面形態と食品破碎能の関連性を確認
-
- 総義歯症例における咬合器のハンドリングのポイント
- 総義歯のエポキシ模型を用いたリングライズドオクルージョンの削合・咬合構成

まとめ

- 筋と顎関節の触診の復習
- スタビライゼーションアプライアンス（スプリント）の調整と再確認
- ドーソンテクニックのデモ
- その他の確認

以上

本実習コースで配付される機器、機材、教材 等 (費用は受講料に含まれています。)

- 各種実習用解説資料【対象：歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士】
 - SCM レコーダー（顎頭運動描記・記録装置）【対象：歯科医師】
 - ステレオステソスコープ（顎関節用聴診器）【対象：歯科医師】
 - パラオクルーザルクラッチ【対象：歯科医師】
 - デンタルマルチルーラー【対象：歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士】
 - 削合実習用リングライズド・オクルージョンによる総義歯模型
（上・下顎エポキシ模型）【対象：歯科医師、歯科技工士】
 - 実習用パーシャルデンチャー設計模型（3種）【対象：歯科医師、歯科技工士】
 - アプライアンス（スプリント）製作用材料【対象：歯科医師、歯科技工士】
 - フェイスボウレコーディング用コンパウンド【対象：歯科医師、歯科技工士】
 - チェックバイト記録用シリコンバイト材【対象：歯科医師、歯科技工士】
 - ハネルフォイル（GHM 社製 12 μ 咬合紙）【対象：歯科医師、歯科技工士】
 - 小物【対象：歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士】
- その他

本実習コースにご参加下さる場合に準備していただく物

- 受講者ご本人の顎模型（硬石膏）上・下顎模型【対象：歯科医師は、上・下顎模型 2 組、歯科技工士は上・下顎模型 1 組と上顎模型 1 個】が必要です。その使用目的は以下に示すとおりです。
 - アプライアンス（スプリント）実習用に上顎模型 1 個【対象：歯科医師、歯科技工士】
 - SCM レコーディング実習に使用するパラオクルーザルクラッチ製作用として下顎模型 1 個【対象：歯科医師】
 - 咬合器による下顎運動再現と咬合診断実習用に上・下顎模型 1 組【対象：歯科医師、歯科技工士】

受講者ご本人の顎模型（硬石膏）は、なるべく直近に採得なさった印象で製作して下さい。

なお、ご自身の顎模型を準備出来ない方は、お申込時にお知らせ下さい。当日印象採得と模型製作を行います。

- プロアーチⅢEG以上のリアウォールを備えた咬合器とプロアーチフェイスボウを既におありでしたらお持ち下さい。咬合器を使用して行う実習は、その後咬合器ごとそのままお持ち帰りになりますと有効な参考資料になります。

咬合器とフェイスボウをこれから購入なさる場合は、本研修会の特別価格でお求めになれますので、HPにあります咬合器購入申込書（PDF）から各自直接業者（沖歯科要材株式会社）と連絡をおとり下さい。基本8ヵ月コースをご受講いただいた方のみ本研修会の特別価格でご購入になれます。

なお、プロアーチⅢEG以上の咬合器とプロアーチフェイスボウをご用意できない方には、当研修会で貸し出し致しますので、事前にお知らせ下さい。

- 咬合紙ホルダーは、可能であればご自分用にデンテック社製の馬蹄形（幅広）のものをご持参下さい。こちらも用意できない方には、当研修会で貸し出し致しますので、事前にお知らせ下さい。

以上

講師一覧



小出 馨【基本8ヵ月コース主任】
日本歯科大学名誉教授



浅野 栄一郎
伊達デンタルク
リニック



渡辺 正宣
旭ヶ丘歯科クリ
ニック



宮本 績輔
宮本歯科医院



八子 誠一郎
八子歯科医院



松島 正和
神田歯科医院



松本 徹
阪東歯科クリニック



服部 典子
棚倉中央歯科医
院



三浦 康伸
三浦歯科医院



田中 希代子
たなか歯科医院



兒玉 敏郎
こだま歯科医院



海老原 寛子
伊達デンタルク
リニック



大林 勢津子
茶畑歯科医院



小出 勝義
日本歯科大学新
潟生命歯学部



小北 一成
小北歯科



早川 順満
青葉台歯科診療
所



千葉 夏未
旭ヶ丘歯科クリ
ニック



小出 未来
日本歯科大学新
潟生命歯学部



小山 浩一郎
おやま歯科中通診療
所



神田 亨
かんだ歯科



土肥 博幸
どひ歯科クリ
ニック



村岡 卓也
むらおか歯科医
院



中村 佐和子
中村歯科医院



西川 新
あらた歯科クリ
ニック



内田 剛也
内田歯科医院



宝崎 岳彦
平沢歯科



蒔田 哲也
マキタ歯科クリ
ニック



星 久雄
星デンタルラボ
ラトリー



上林 健
ナチュラルセラ
ミック



秋山 公男
歯成会



吉澤 和之
オーリアラ



森野 隆
モリノ歯科技工
所



白石 大典
湘南セラミック



松尾 寛
エムズ・トライ
デント



木村 義明
エステティッ
ク・アート・デ
ザイン



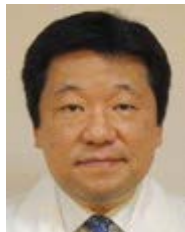
崎田 竜仁
鹿児島ミリング
センター



橘田 修
ケイワークス



南郷谷 亨
ナンゴウヤ・デ
ンタル・ラボラ
トリー



山口 芳正
フェスタデンタ
ルテクノロジー



有田 真由美

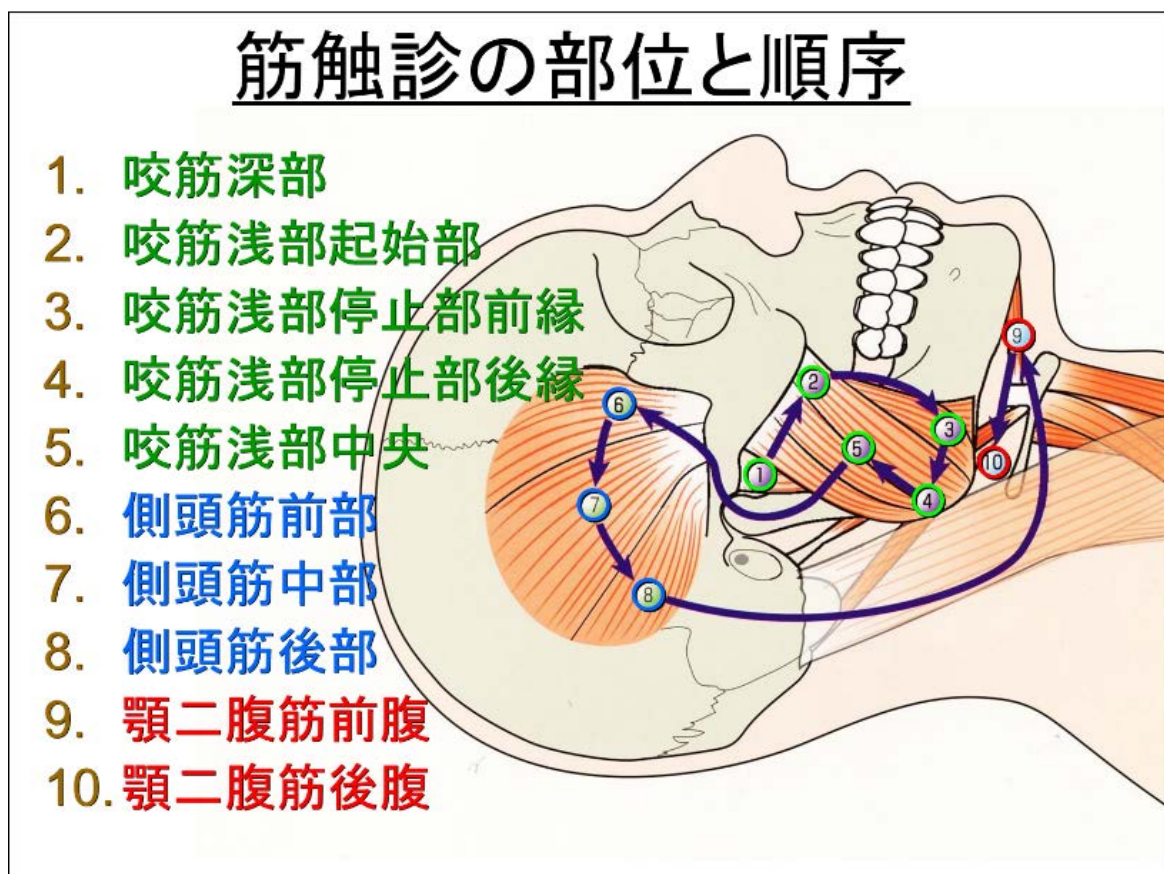


藤田 良磨
RYOMA Dental
Technician's
Office

実習 6 日間コースの主な実習内容

【1 日目】 13:00～18:00

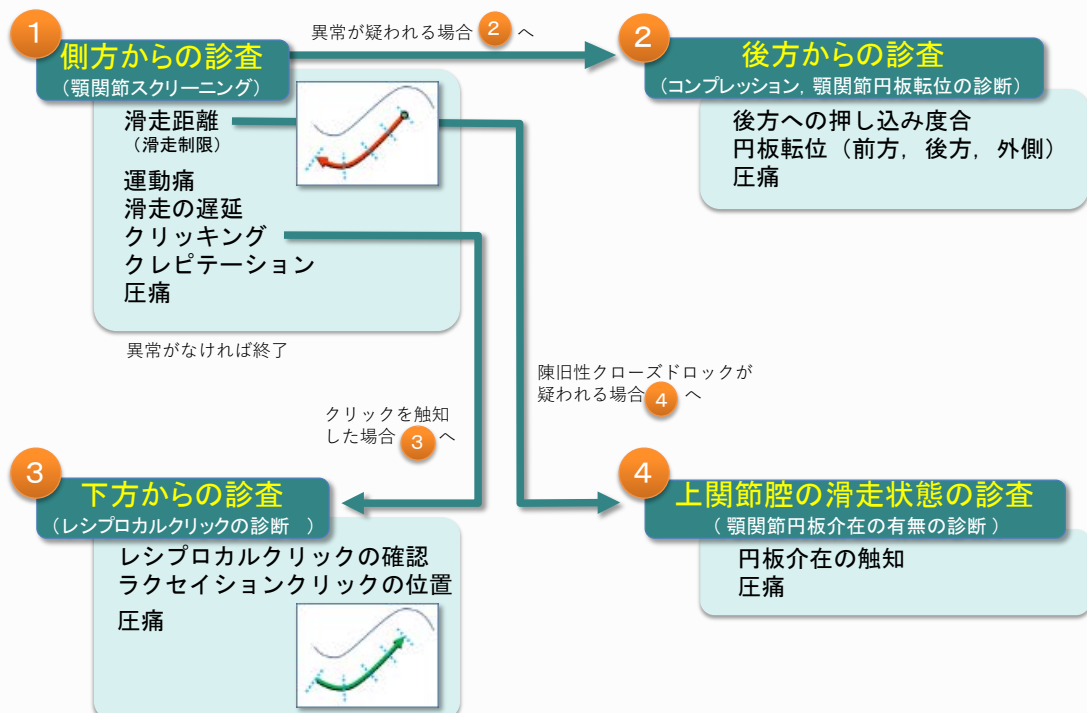
1. 会場の案内と説明
2. 配付資料の確認
3. 器具機材の配付と説明
4. 実習 6 日間コースの概説
5. 実習示説 1 (筋の触診, 顎関節の触診と聴診)
6. 筋の触診と臨床診断



7. 顎関節の触診と臨床診断



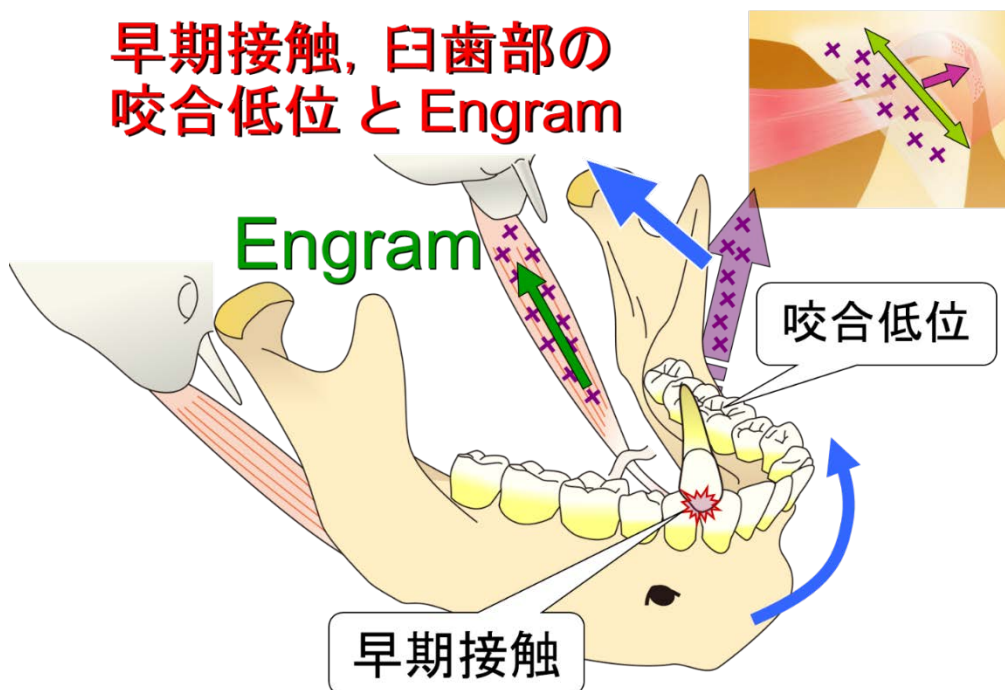
顎関節触診4種の評価内容



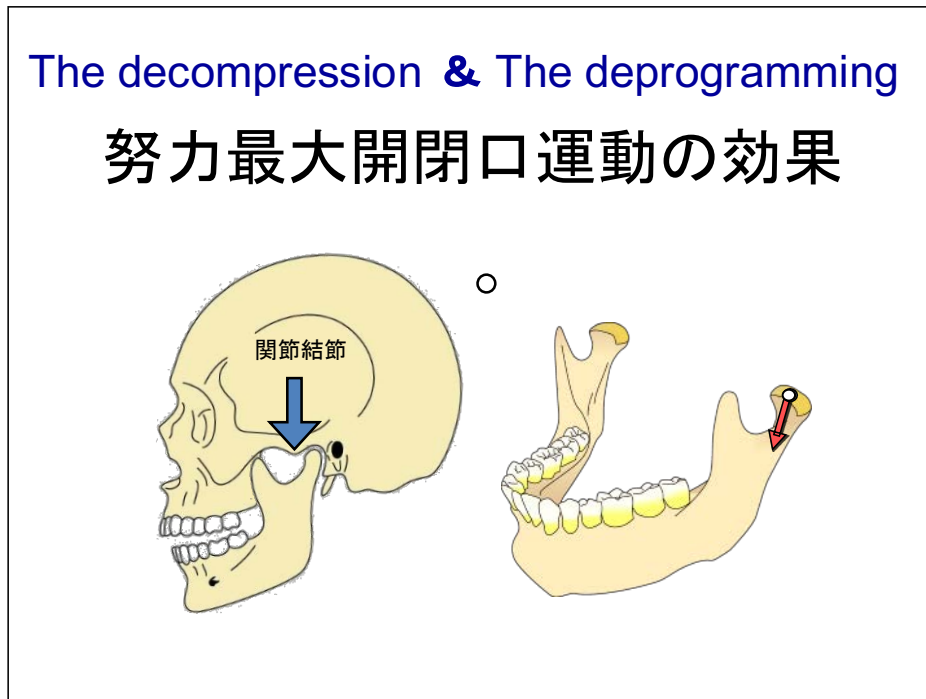
8. ステレオステソスコープによる顎関節の聴診



9. エングラム (Engram) の理解と診断



10. ディコンプレッションとディプログラミング
(decompression & deprogramming) の理解



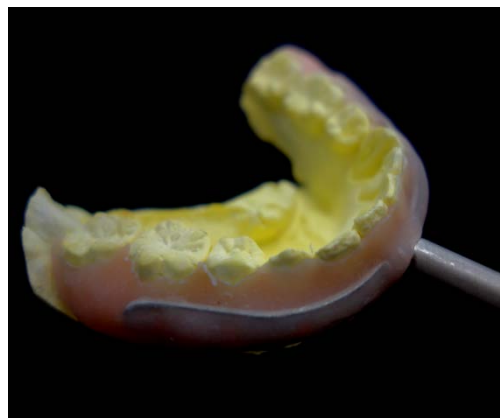
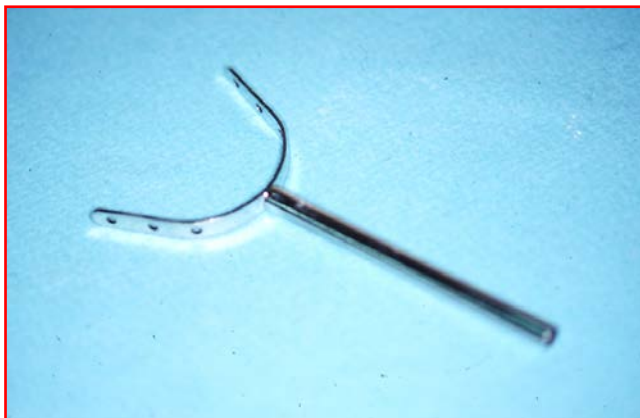
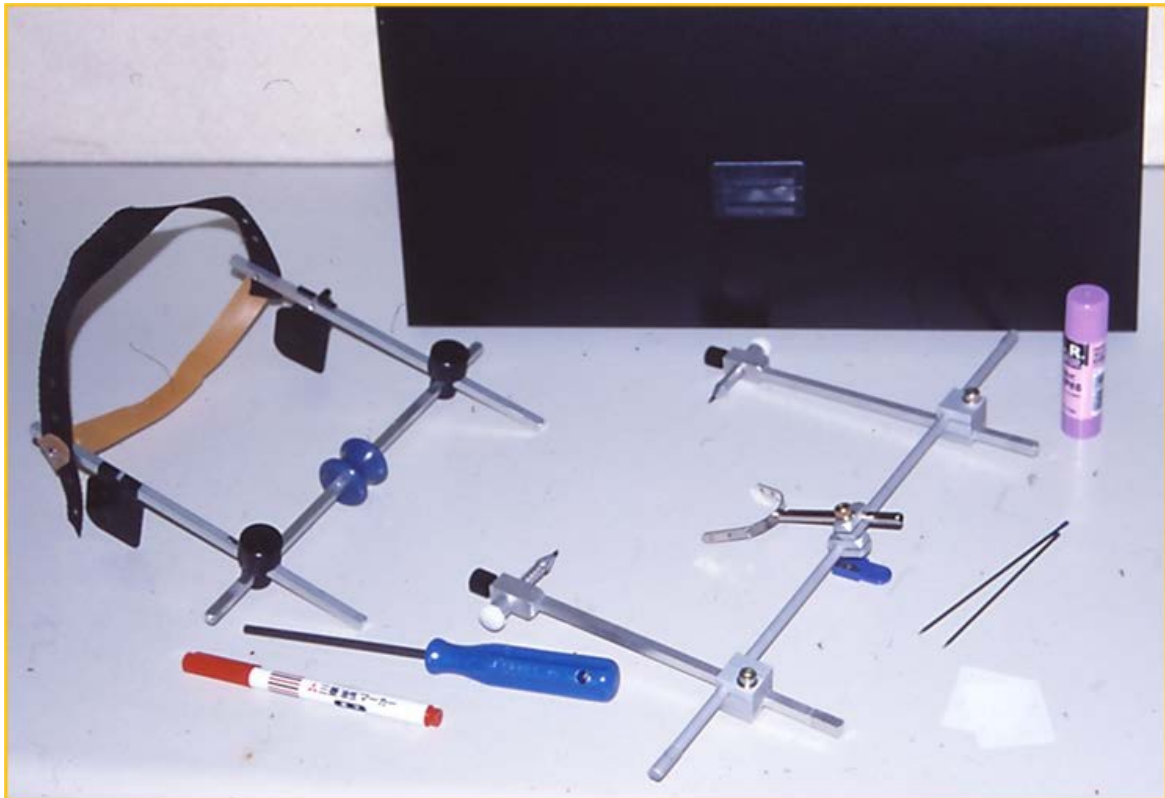
11. 筋の触診と臨床診断の復習

12. 顎関節の触診と臨床診断の復習



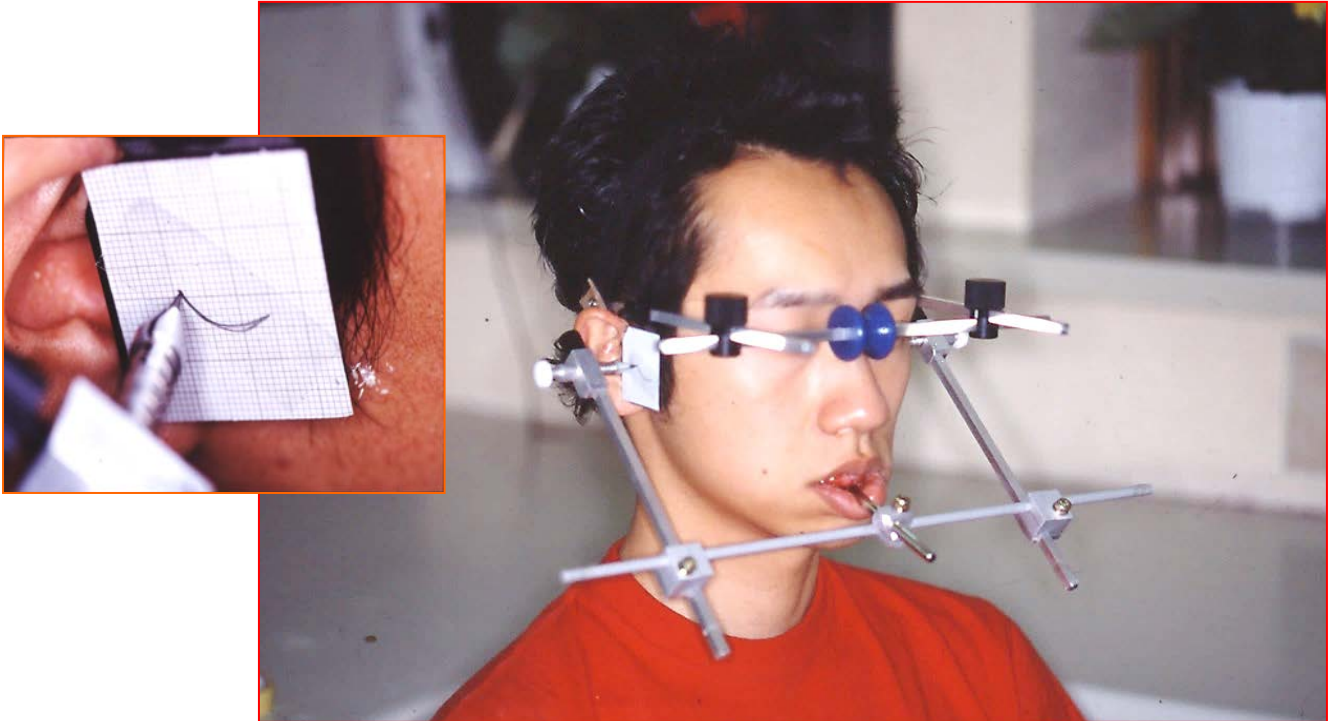
【2日目】 9:30～16:30

1. 実習示説2 (パラオクルーザルクラッチの製作)
2. 顎頭運動描記装置用パラオクルーザルクラッチの製作デモ
3. 顎頭運動描記装置用パラオクルーザルクラッチの製作実習

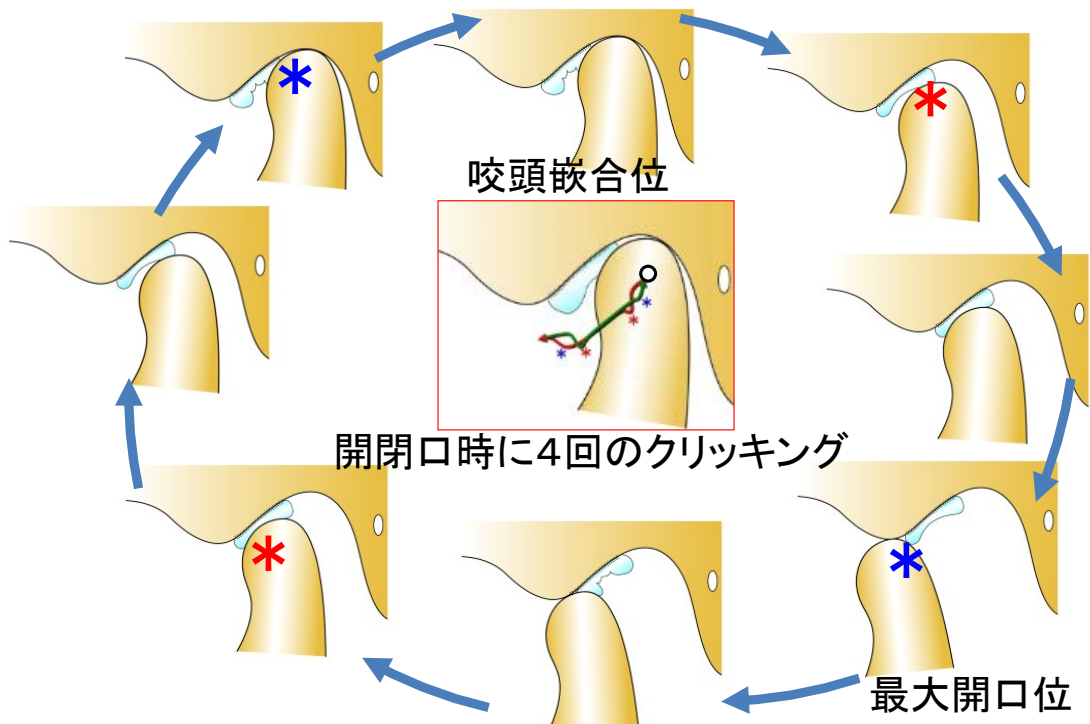


4. 実習示説3 (SCM レコーダーによる顎頭運動経路描記)

5. SCM レコーダーによる顎頭運動経路描記と顎関節の診断実習

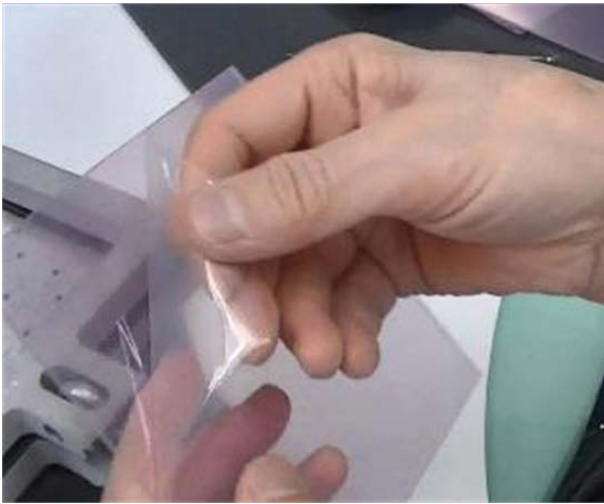


円板前方転位と上関節腔の癒着



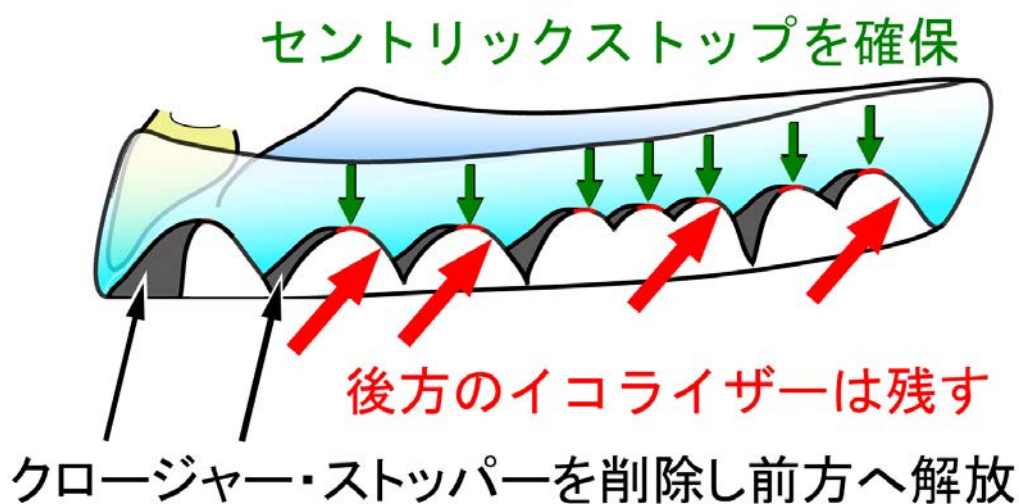
【3日目】 13:00～18:00

1. 実習示説4（スプリントの製作・装着・調整）
2. スプリントベース部の製作前準備
3. 作業模型のブロックアウト，リリース

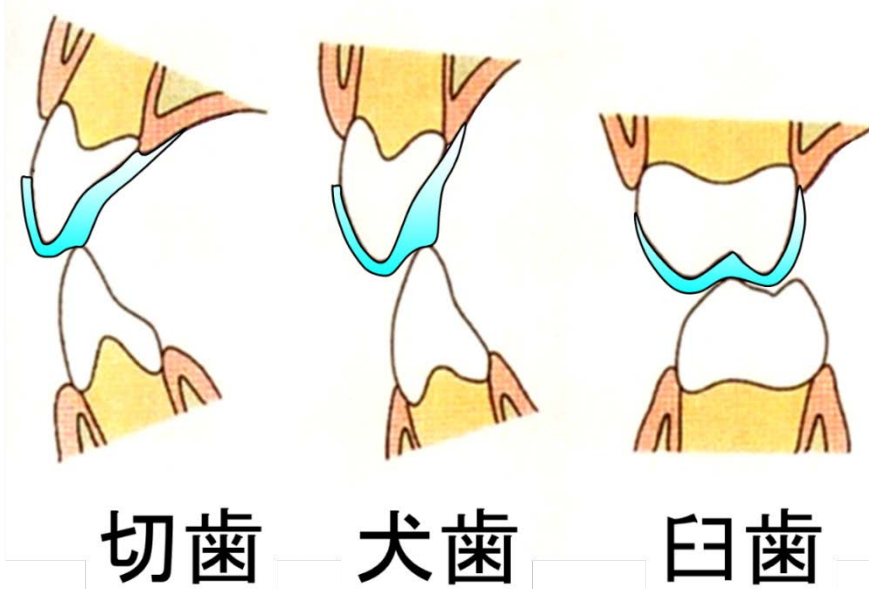


4. スプリントベース部の製作
5. スタビライゼーションスプリントの製作・装着・調整

スタビライゼーション型の設定基準



スプリントベース部の製作基準



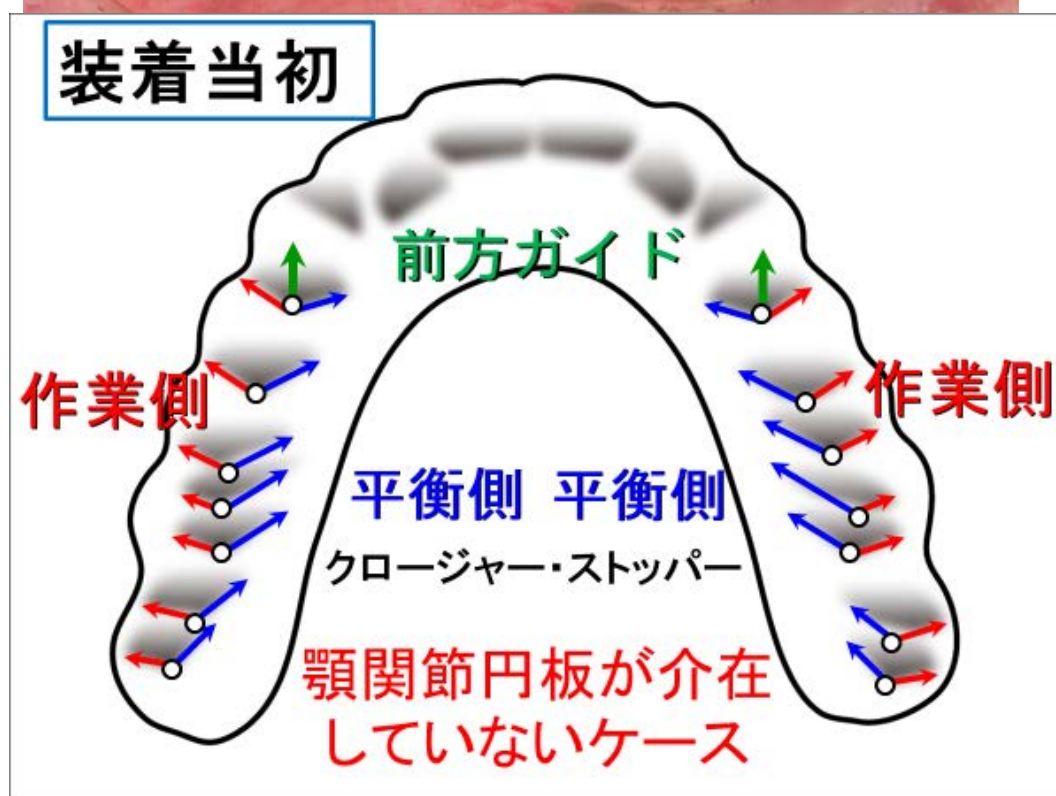
6. ハネルフォイルによる咬合診査

ハネルフォイルによる的確な咬合診査



7. 逃避反射の影響を確認

8. ディコンプレッションとディプログラミングの再確認



【4日目】 9:30～16:30

1. 実習示説5 (フェイスボウトランスファー, 咬合器への模型装着)
2. フェイスボウレコーディングの前準備 (バイトフォークにモデリングコンパウンド等を盛り, 上顎模型を圧接して歯列の圧痕を付与)



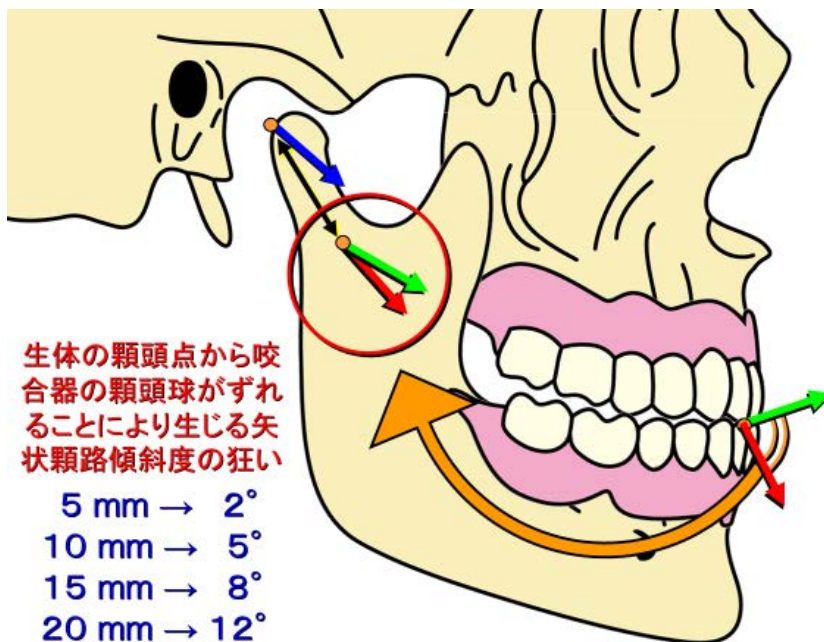
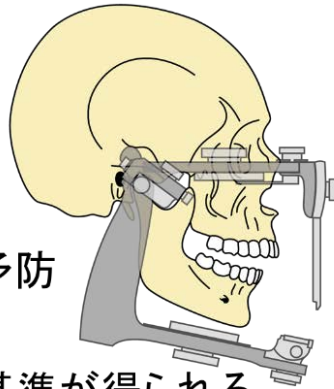
3. フェイスボウレコーディング
4. 模型装着前の咬合器の前準備 (各指導部の設定)
5. フェイスボウトランスファー



6. 上顎模型の咬合器装着
7. 咬頭嵌合位での下顎模型の咬合器装着
8. 臨床模型を用いた咬合器顎路調節の基礎実習

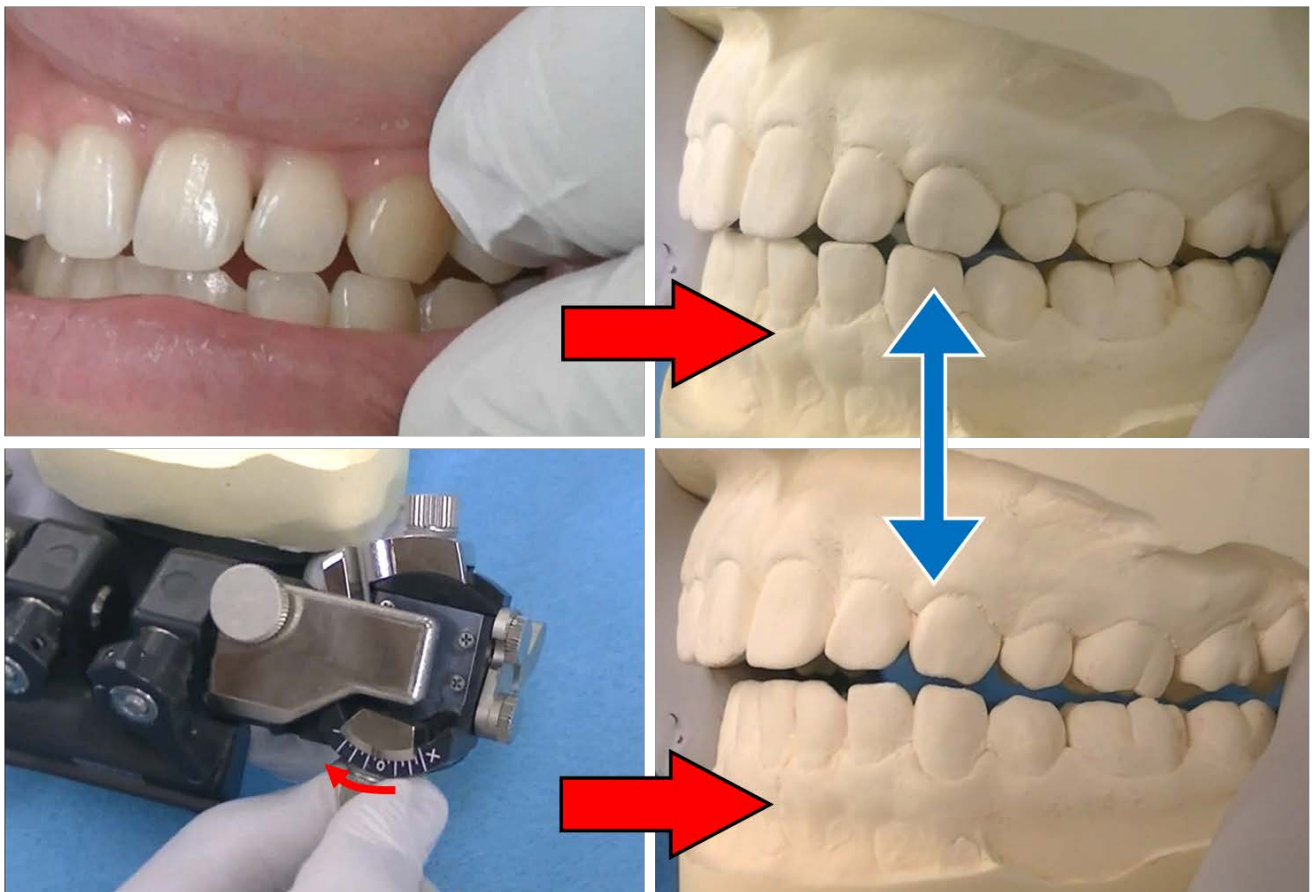
フェイスボウ・トランスファーの効果

1. ボンウィル三角の再現
2. バルクウィル角の再現
3. 蝶番運動軸の再現
4. 下顎開閉口路の再現
5. 補綴物における早期接触の予防
6. 下顎運動の再現性の向上
7. アンテリアガイダンスの設定基準が得られる
8. 頭位の再現
9. 歯軸と被蓋の設定基準が得られる
10. 咬合平面の位置と彎曲度の設定基準が得られる



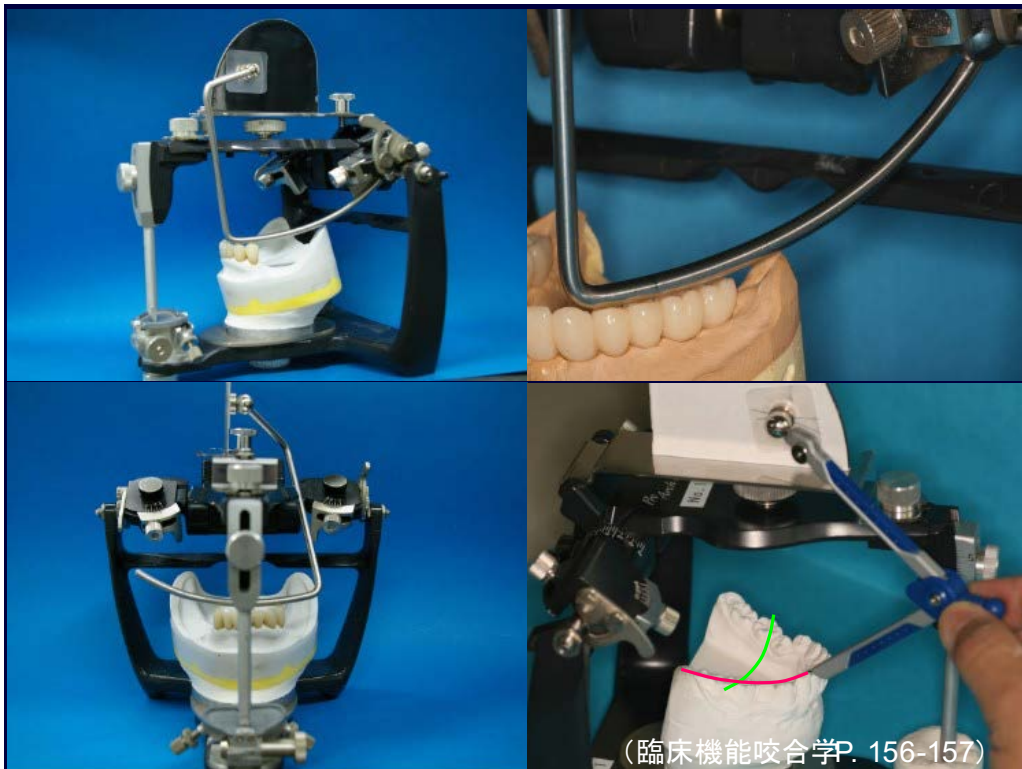
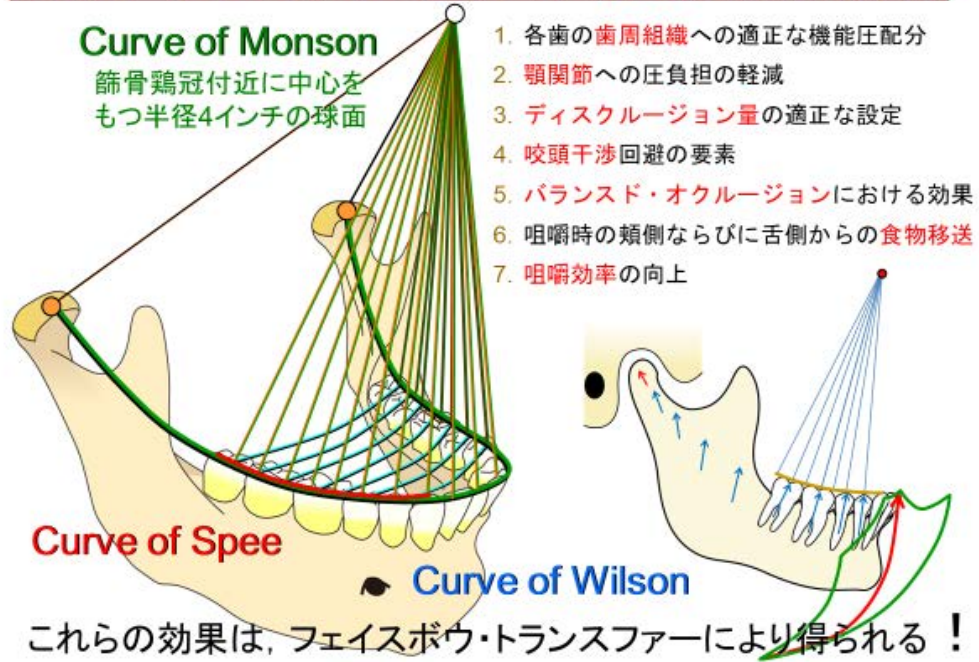
9. 実習示説6 (チェックバイト, 的確な咬合器の顎路調節, 咬合診断, 咬合平面の位置と彎曲度の診断)
10. 左右側方偏位におけるアンテリアジグの製作
10. 左右側方偏位におけるチェックバイトの採得
11. チェックバイト記録の適合調整
12. 作業側側方顎路角 (リアウォール) を含めた咬合器の顎路調節
13. 側方限界運動と前方運動の再現と咬合診断

作業側側方顎路角調節機構(リアウォール)の有効性

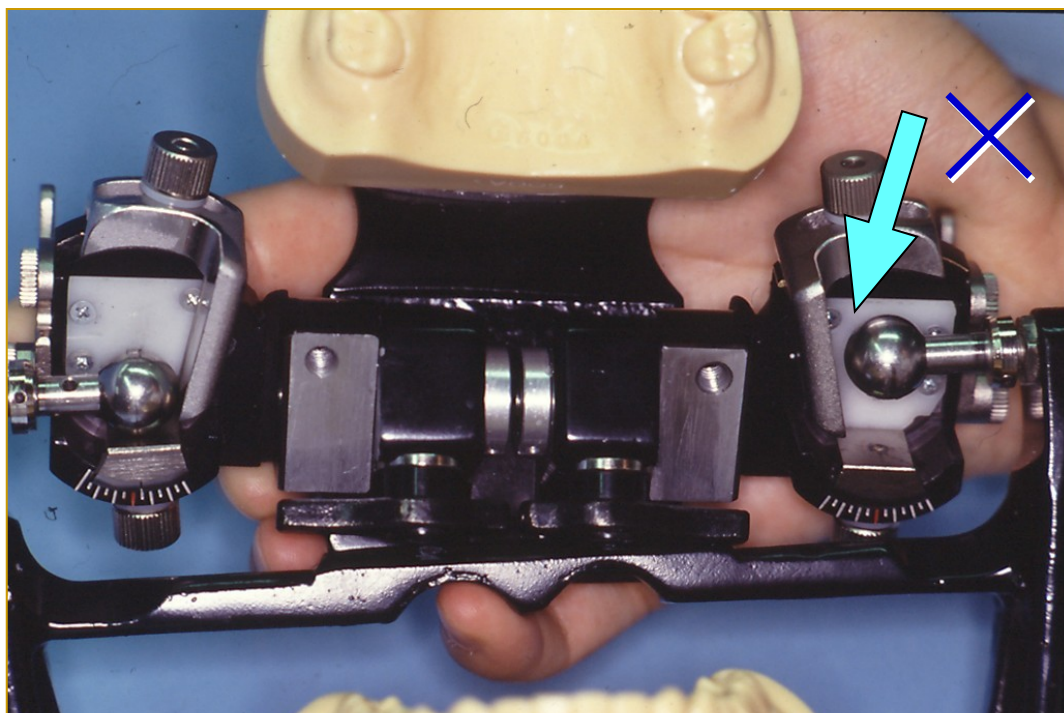
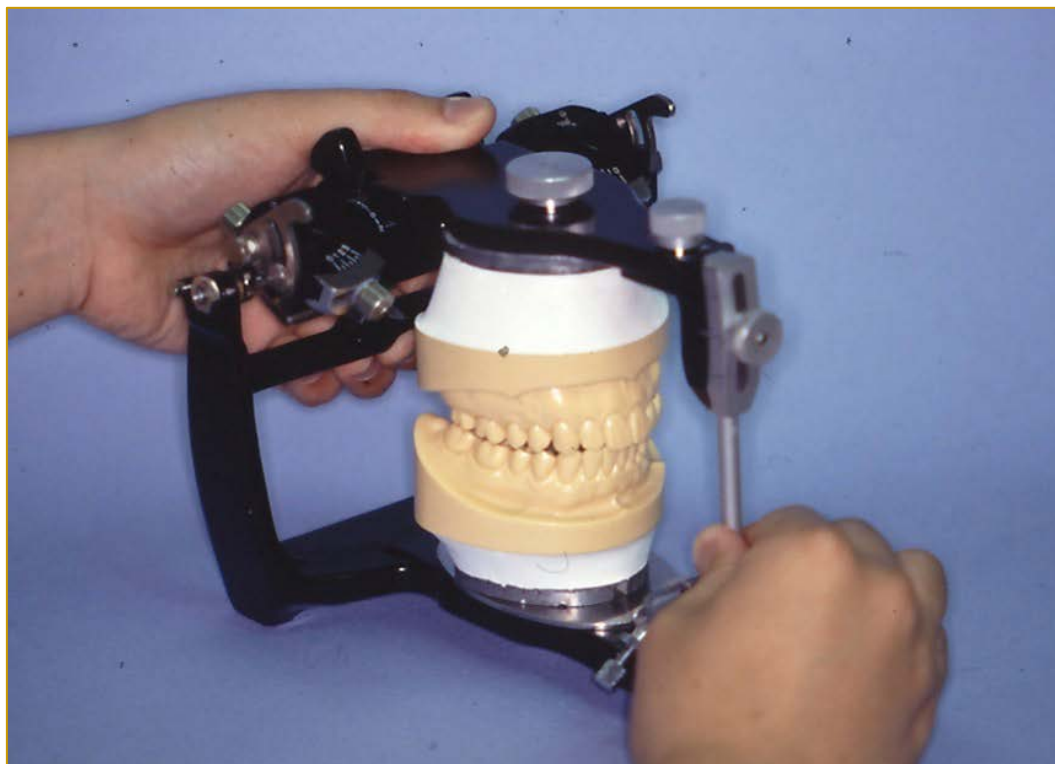


14. オクルーザルプレーンアナライザーによる咬合平面の診査・検査・診断

咬合平面の位置と彎曲度の効果

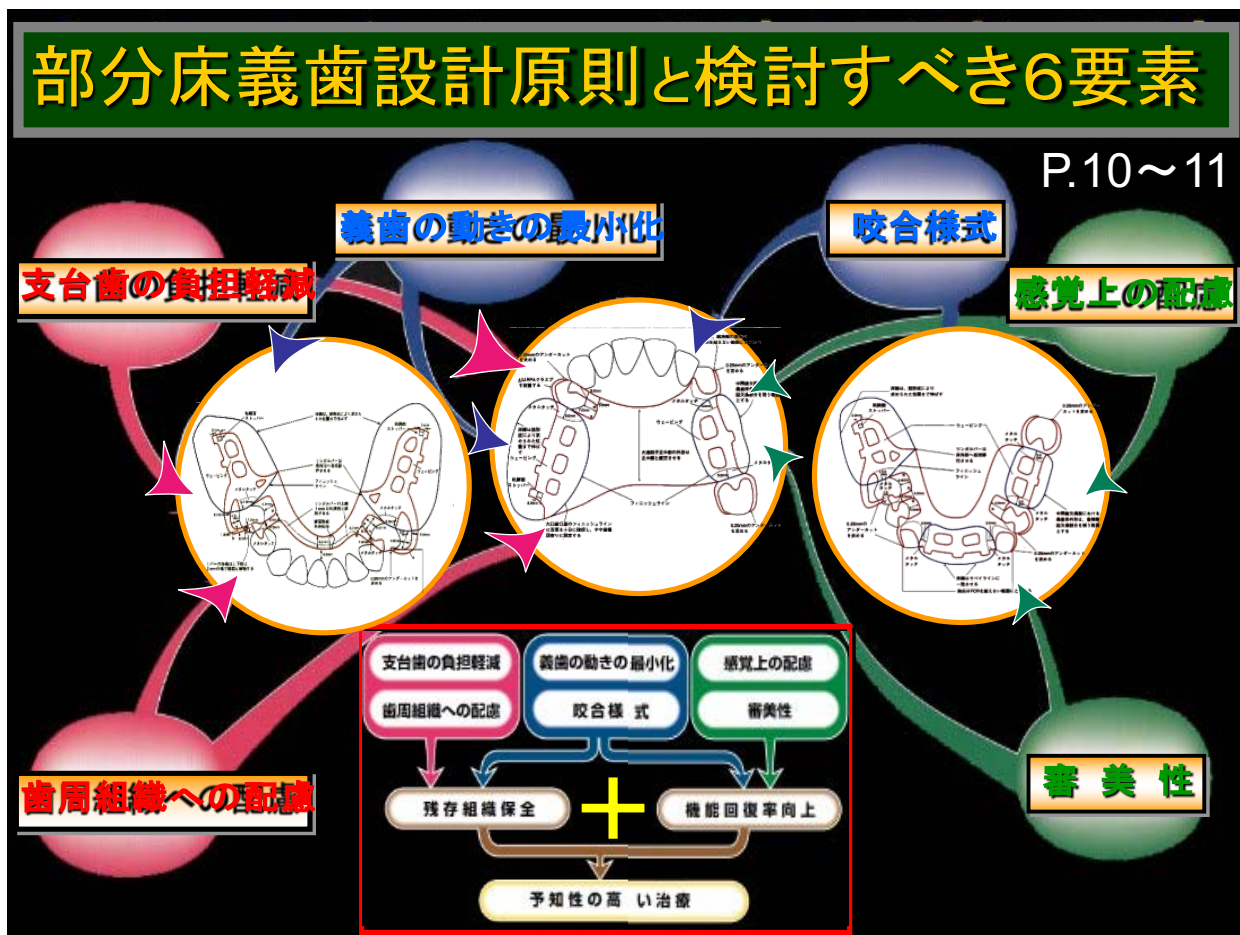


15. 咬合器のハンドリング



【5日目】 13:30～18:00

1. 実習示説7 (パーシャルデンチャーの設計)
2. パーシャルデンチャー3症例のサベイング
3. 3症例の設計実習



パーシャルデンチャーの設計(症例1)

粘膜面は全面均等加圧印象を行う

従来、床織は筋形成により求められた位置まで伸ばすのが原則である
しかし、実際の臨床では、感覚上の配慮から、頬側床織は最深部にとどめ、舌側後力/3の床織は、顎舌背筋線と離れる位置までとし、違和感を軽減させる

リンガルバーは床外形へ自然移行させる
フィニッシュライン
リンガルバーの上縁1mmは粘膜面と接触させる
断面形態半円形

ウェービング
メタルタッチ
メタルタッチ
メタルタッチ
メタルタッチ
メタルタッチ
メタルタッチ

近心頬側床織は近心の歯槽粘膜へ移行形態とする
1バーの先端は上下的に2mmの幅で歯面と接触する

ガイドブレンの形成により死腔を減少させる
ダブルレストを設置してフードインバック型リンガルバーの下縁は舌側溝や舌小帯から離して設定する防止する

RPI
レストシートは鋭角でスプーン状に形成する
1バーは近心側3に設置
遠心舌側にもガイドブレンを形成し、支台歯の捻転を抑制する

0.25mmのアンダーカットを求めるとの注釈が複数箇所にある。

パーシャルデンチャーの設計(症例2)

口蓋硬膜の後縁に沿わせて走行させて違和感を軽減させる。
0.25mmのアンダーカットを求めるとの注釈が複数箇所にある。

基礎輪レスト 大歯では維持筋の鉤突部を大きく越えない範囲にとどめ、装着時接近角を大きくする

粘膜面は全面均等加圧印象を行う
メタルタッチ
ウェービング
大連結子正中部の外形は正中線と直交させる

近心頬側床織は近心の歯槽粘膜へ移行形態にする
1/2 クラップ断面
4はRPAクラスプを設置する

フィニッシュラインは舌唇と調和した位置に設定する
粘膜面は全面均等加圧印象を行う

エーカースクラスプは、着脱時の確実な拮抗のためのガイドブレンを形成する
0.25mmのアンダーカットを求めるとの注釈が複数箇所にある。

従来、床織は筋形成により求められた位置まで伸ばすのが原則だが、実際の臨床では、感覚上の配慮から最深部にとどめ、違和感を軽減させる。

FCR (Frontal Curve Rest)

パーシャルデンチャーの設計(症例3)

従来、床縁は筋形成により求められた位置まで伸ばすのが原則だが、実際の臨床では、感覚上の配慮から頬側床縁は最深部にとどめ、舌側床縁は、顎舌骨筋縁を2mm越える位置までとし、違和感を軽減させる

0.25mmのアンダーカットを求める

エーカースクラブは、着時の確実な拮抗のためのガイドプレーン形成する

ウェービング

粘膜面は全面均等加圧印象を行う

リンガルバーは床外形へ自然移行させる

フィニッシュライン

近心舌側の鞍形空隙部にもガイドプレーンが形成されているので、拮抗面を微小化して自浄性と違和感を改善する

近心頬側床縁は近心の歯槽粘膜へ移行形態とする

1バーは近心槽3に設置し、0.25mmのアンダーカットを求める

中間歯欠損部における義歯床外形は、歯槽隆起欠損部分を補う範囲とする

機能的下唇閉鎖路と調和しリップサポートを構成する

上顎前歯切縁側近

0.25 mmのアンダーカットを求める

金属タッチ

床縁はサバイラインに一致させる

犬歯では維持腕の鉤尖を大きく越えない範囲にとどめ、装着時接近!

パーシャルデンチャーの設計(症例4)

従来、床縁は筋形成により求められた位置まで伸ばすのが原則だが、実際の臨床では、感覚上の配慮から頬側床縁は最深部にとどめる

リンガルエプロン

粘膜面は全面均等加圧印象を行う

ティッシュストップ

2.0mm

舌側後方1/3の床縁は、顎舌骨筋縁を2mm越える位置までとする

フィニッシュライン

ウェービング

近心頬側床縁は近心の歯槽粘膜へ移行形態とする

金属タッチ

リンガルエプロン

3.0mm

3.0mm

金属タッチ

3.0mm

RPA

RPAクラスプ 0.25mmのアンダーカットを求める

リンガルエプロンの下縁唇側溝や舌小帯から離して設定する

RPA

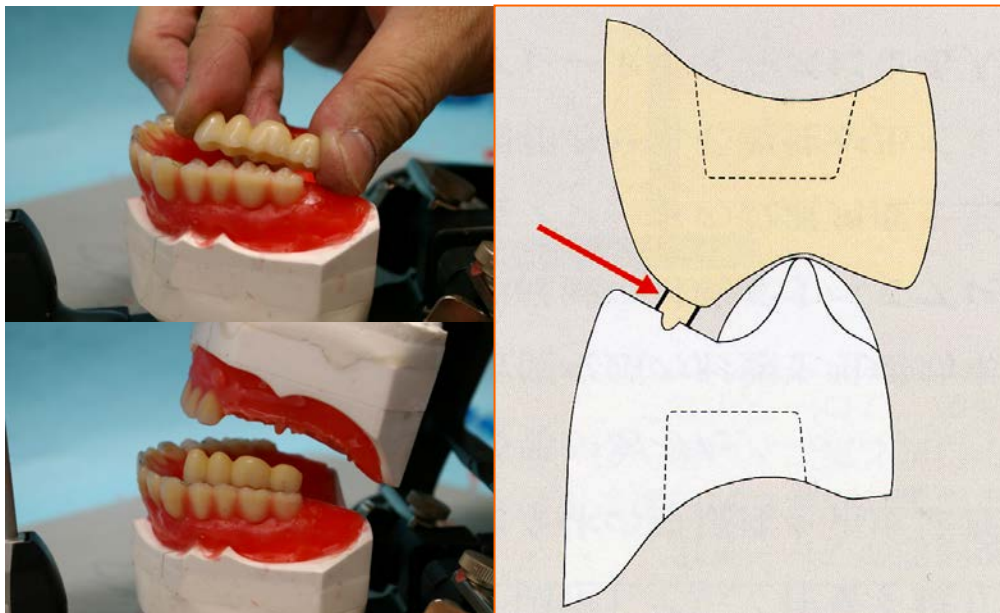
RPAクラスプ 0.25mmのアンダーカットを求める

顎前

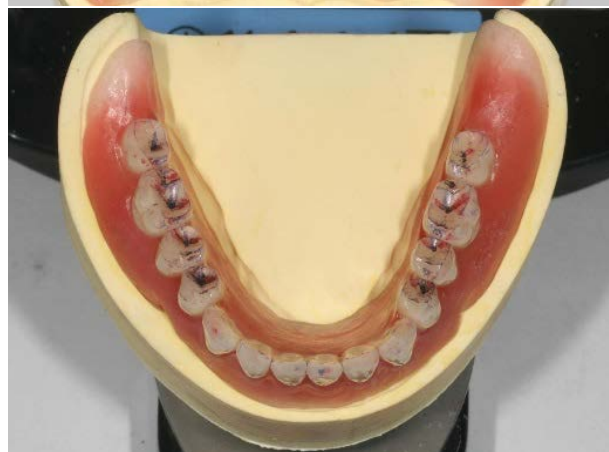
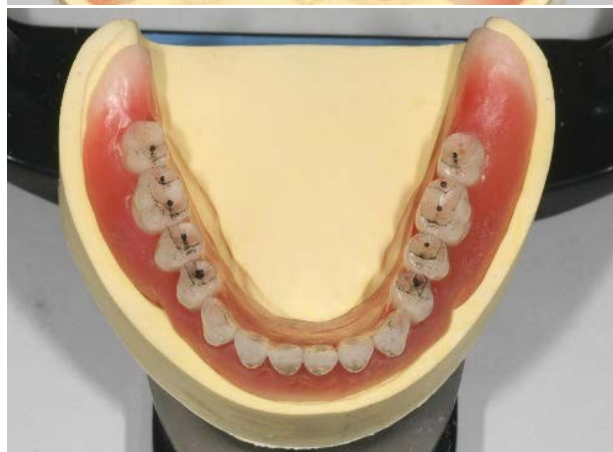
クラスプ断面

【6日目】 9:30～16:30

1. 実習示説8 (リンガライズドオクルージョンの適正なバイラテラルバランスを構築)
2. 3Dプリンタで製作した総義歯 (全部床義歯) の咬合器装着



3. 咬合器上で総義歯の削合を行い、適正なバイラテラルバランスのリンガライズドオクルージョンを構築

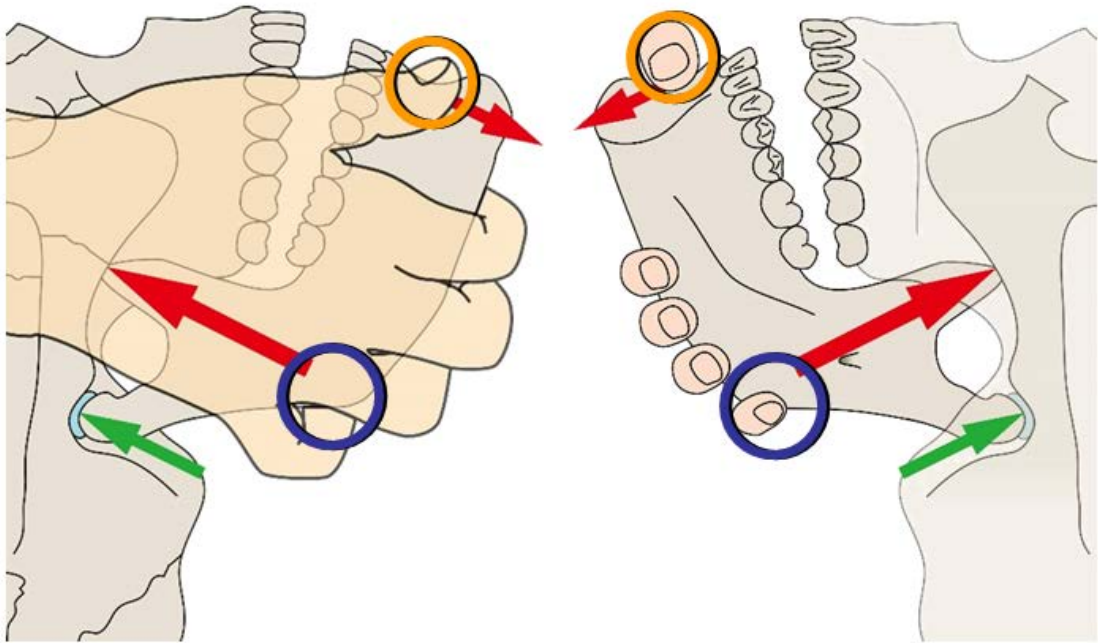


咬頭嵌合位の印記

偏心位の印記

4. 咬合器のハンドリングの復習

5. ドーソンテクニックのデモ



6. 実習 6 日間コースのまとめ

→ もし時間があれば

7. スタビライゼーションプリントの調整確認

8. 筋と顎関節の触診の復習

以上